

## 日本企業のサプライチェーン最上流の農家の環境・社会課題解決へ向けた取り組み

活動地域  日本全域



サステナブル・コットン普及啓発日本語サイト

### 課題

発展途上国の綿花とサトウキビ農家の課題として、農業と化学肥料の不適切な使用が環境汚染と健康被害を発生させるとともに、その農業等のコスト負担により貧困に陥っている。

### 目標

綿花とサトウキビ農家の環境・社会課題の解決のために、日本の企業・消費者へ普及啓発し、企業のサステナブル・コットンの使用率、サトウキビの認証品の使用率を向上させる。



### 今後の展望

綿花：コットン2040との連携によりイニシアチブを7月に立上げ予定。関係団体を巻き込み議論を行う。サトウキビ：ボンスクロとの連携により課題の認知度を上げる活動を継続しイニシアチブの立上げの基礎を作る。

はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

### 活動内容と成果

綿花とサトウキビ農家に関する環境・社会課題解決へ向けて、綿花、サトウキビの認証のセミナー開催などで認知度の向上に努めた。綿花については、6月に国際会議に参加し主要な団体と連携を行い、7月に綿花の国際イニシアチブのコットン2040と覚書を締結、3月末にサステナブル・コットンを推進する情報サイトの日本語版を作成した。サトウキビについては、ボンスクロとの協働で、日本において5回のセミナー開催、また種子島のサトウキビ農家、製糖工場の実態調査を実施し日本におけるボンスクロ認証取得の基礎を作った。



砂糖の持続可能な原材料調達セミナーの様子

サステナブル・コットンの認知度 **50%**

ボンスクロ認証の認知度 **39%**

今年度計画の達成度 **68%**

目標達成度 **50%**

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

日本の企業や消費者は、サステナブル・コットンを推進することの必要性を認識しておらず、普及啓発の土壌形成が必要だった。

#### ■ 工夫した点

サステナブル・コットン推進団体コットン2040と覚書締結、日本のイニシアチブ立上げ準備と普及の為の日本語サイトの立上げ。

〒213-0029

神奈川県川崎市高津区

東野川2-30-10-201

E-mail : [info@g-assc.org](mailto:info@g-assc.org)

HP : <http://g-assc.org/>

